



令和7年度児童生徒・教員のタブレット端末の 活用状況に関する実態調査結果報告

令和8年3月

熊本市教育センター

目次

調査概要	2
参考資料(熊本市タブレットの約束・タブレットびらき・リーフレット【児童生徒編】)	3
教・子 熊本市タブレットの約束への意識 (端末への意識)	4,5
教 授業改善への寄与 (端末への意識)	6
教・子 授業での活用場面(学校での活用)	7,8
教・子 活用の効力感	9,10
教 端末が導入されて感じる児童生徒の変化 【自由記述～良かった点～】 (端末への意識)	11
子 学校用端末の使用内容と使用時間 (端末の取扱い)	12～14
子 家庭用端末の所持率 (端末の取扱い)	15
子 家庭用端末の使用内容と使用時間 (端末の取扱い)	16～18
子 学校用端末で困ったこと (端末への意識)	19
教 端末が導入されて感じる児童生徒の変化 (端末への意識)	20
教 端末が導入されて感じる児童生徒の変化 【自由記述～困った点～】 (端末への意識)	21
今年度のアンケート回答の特徴	22

調査概要

1.調査目的

タブレット端末の「学校での活用」「家庭での活用」に加え、「情報モラル意識」等について尋ねることで活用状況を把握し、今後の活用推進に生かすため。

2.調査設計

(1) 調査方法・対象：

	①小学校低学年	②小学校中高学年	③中学生	④教員(小学校)	⑤教員(中学校)
調査対象	小学校1～2年生	小学校3～6年生	中学校1～3年生	小学校で授業を担当している教員	中学校で授業を担当している教員
調査方法	・Microsoftフォームでアンケートを5種類作成 ・タブレット端末にアイコンを配信				
回答結果	9,085人(70.8%) ※R6 8,181人(63.4%)	18,449人(68.9%) ※R6 16,982人(62.8%)	13,818人(70.6%) ※R6 12,773人(65.2%)	1,573人(60.7%) ※R6 1,292人(60.6%)	923人(64.1%) ※R6 737人(61.0%)

(2) 期間：令和7年（2025年）12月15日（月）～令和8年（2026年）1月9日（金）

3.備考

- ・新しいタブレット端末になって初めてのアンケート。
- ・タブレット端末導入のメリットだけでなく、デメリットを問う設問の設定をした。
- ・タブレット端末導入前から授業をしている教員に対する設問を設定した。
- ・回答に自由記述を設定した。
- ・学校のタブレット端末だけでなく、家庭の端末についても問う設問の設定をした。



【熊本市タブレットの約束】

- ・ 学びを深め、生活を豊かにするために使います
- ・ 自分のことも相手のことも大切にしたい使い方をします

タブレットびらき

～iPadを学びの相棒にしよう！～

アイちゃん

カラちゃん

熊本市教育センター
(2025.4)

↑「タブレットびらき」動画

2025.4.ver.

授業の主役は、あなたたちだ！ iPadを学びの相棒(パートナー)に！

自ら学びに向かう力を育む教育の推進【児童・生徒編】

～1人1台端末の活用を通して～

【熊本市タブレットの約束】

- ・ 学びを深め、生活を豊かにするために使います
- ・ 自分のことも相手のことも大切にしたい使い方をします

タブレットでできることが広がるよ。新しいアイデアも生まれるはず！

自分も相手も大切にしたい使い方を、みんなで考えよう！

さまざまな学びに活用できるといいね！

できるようになってほしいこと

基本スキル

- 情報機器の正しい使い方を知る
- 映像の撮影や編集を行う
- 自分の考えを発表する
- 新聞・レポート・リーフレットなどを作る
- 録音や音楽づくりをする
- プログラミングする

探究力スキル

- わからないことを調べる
- 思考ツールなどを使って考える
- 仲間と協力して学びあう

知っておいてほしいこと

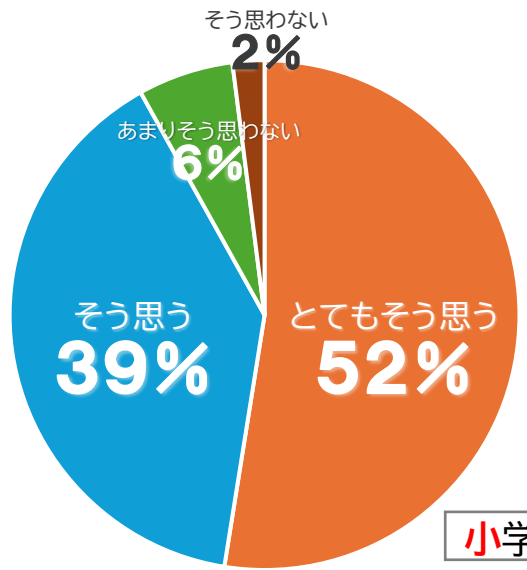
- タブレット端末について**
タブレット端末は熊本市から貸し出している、学びのためのツール(道具)です。学校や家庭で適切に活用してください。
- 持ち帰りについて**
学校の授業や家庭学習などで使うので、毎日家に持ち帰ります。家に帰ったら、タブレット端末の充電をしてください。
- こわれた時・パスワードがわからなくなった時について**
タブレット端末はいつでも見つかるようにしてください。こわれたり、失くしたりしたときや、パスワードがわからなくなった時は、すぐに学校に伝えてください。
- 使用量について**
タブレット端末ごとに、通信量があります。通信量が多い時は、画面面の縮小のため、使用方法について学校から家庭に連絡をすることがあります。
- 返却について**
学年が上がる時には、そのまま持ち上げますが、卒業する時には、タブレット端末、キーボードケース、充電器は返却になります。

熊本市教育センター

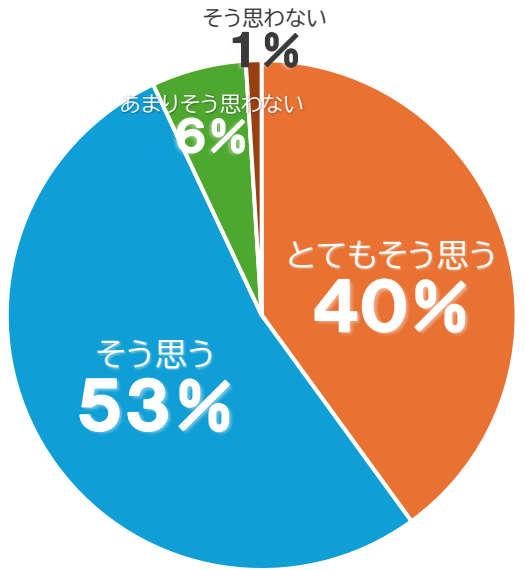
↑リーフレット【児童・生徒編】

Q. タブレット端末を「学びを深め、生活を豊かにすること」につなげられていますか

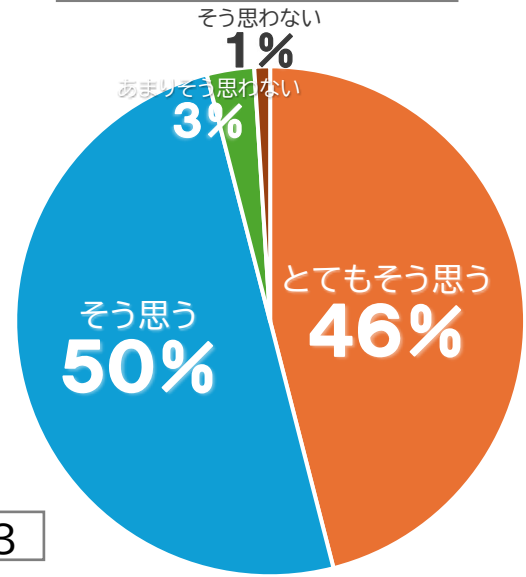
小1～2年生 n=9,085



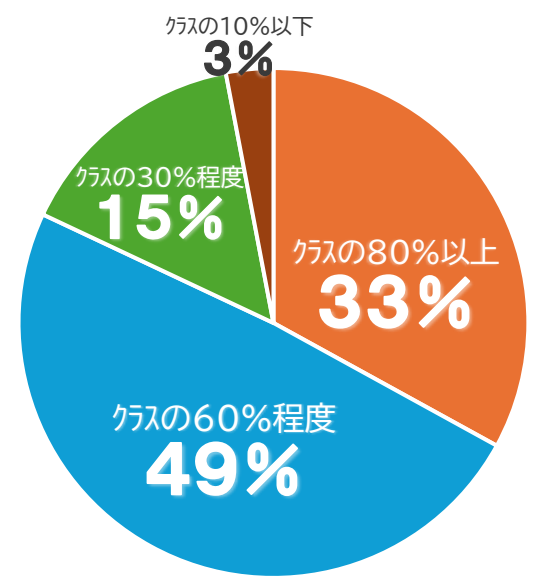
小3～6年 n=18,449



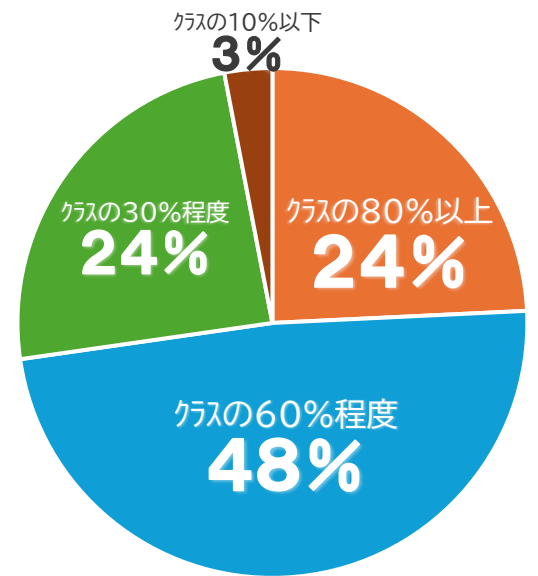
中学生 n=13,818



小学校教員 n=1,573

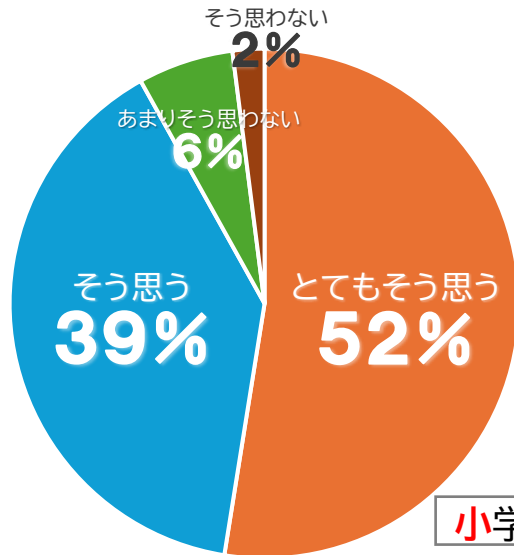


中学校教員 n=923

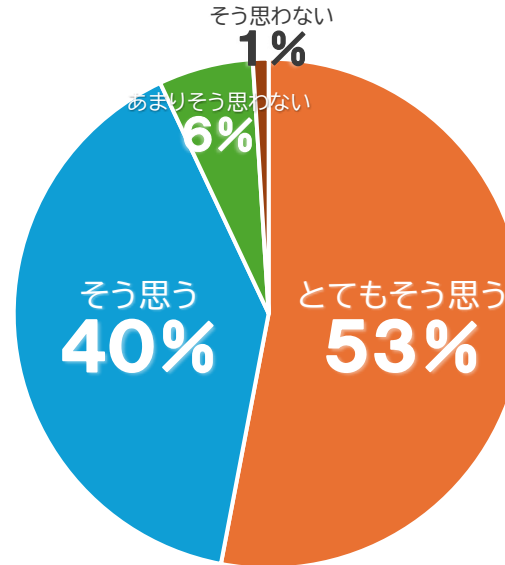


Q. タブレット端末を「自分のことも、相手のことも大切にしたい使い方」につながられていますか

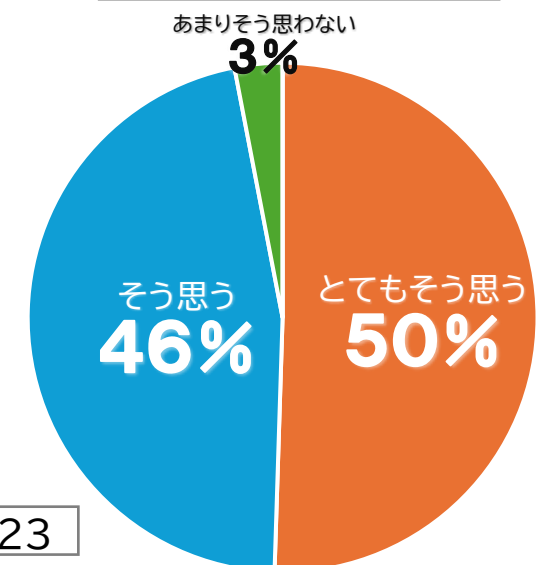
小1～2年生 n=9,085



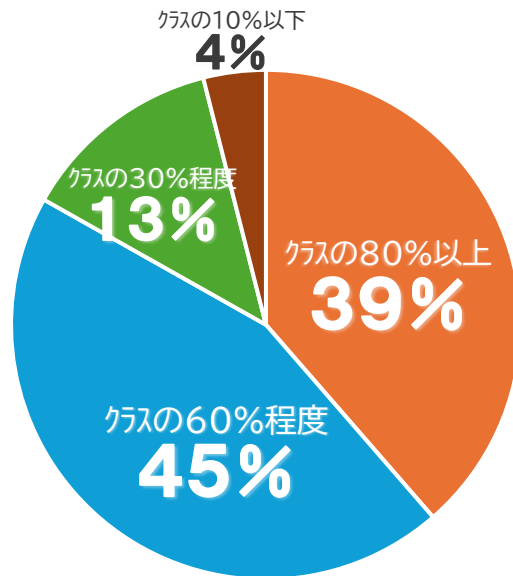
小3～6年 n=18,449



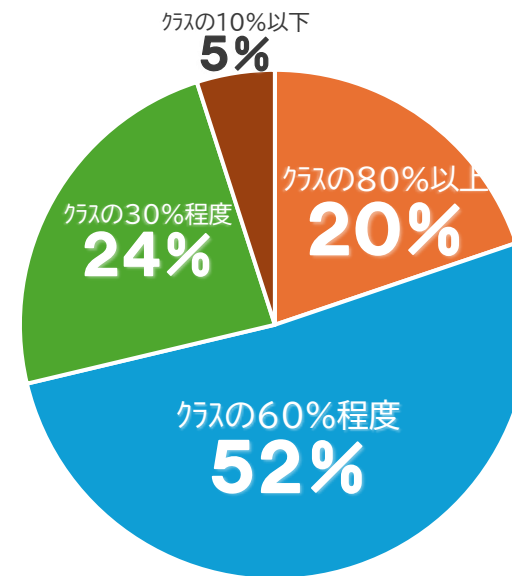
中学生 n=13,818



小学校教員 n=1,573



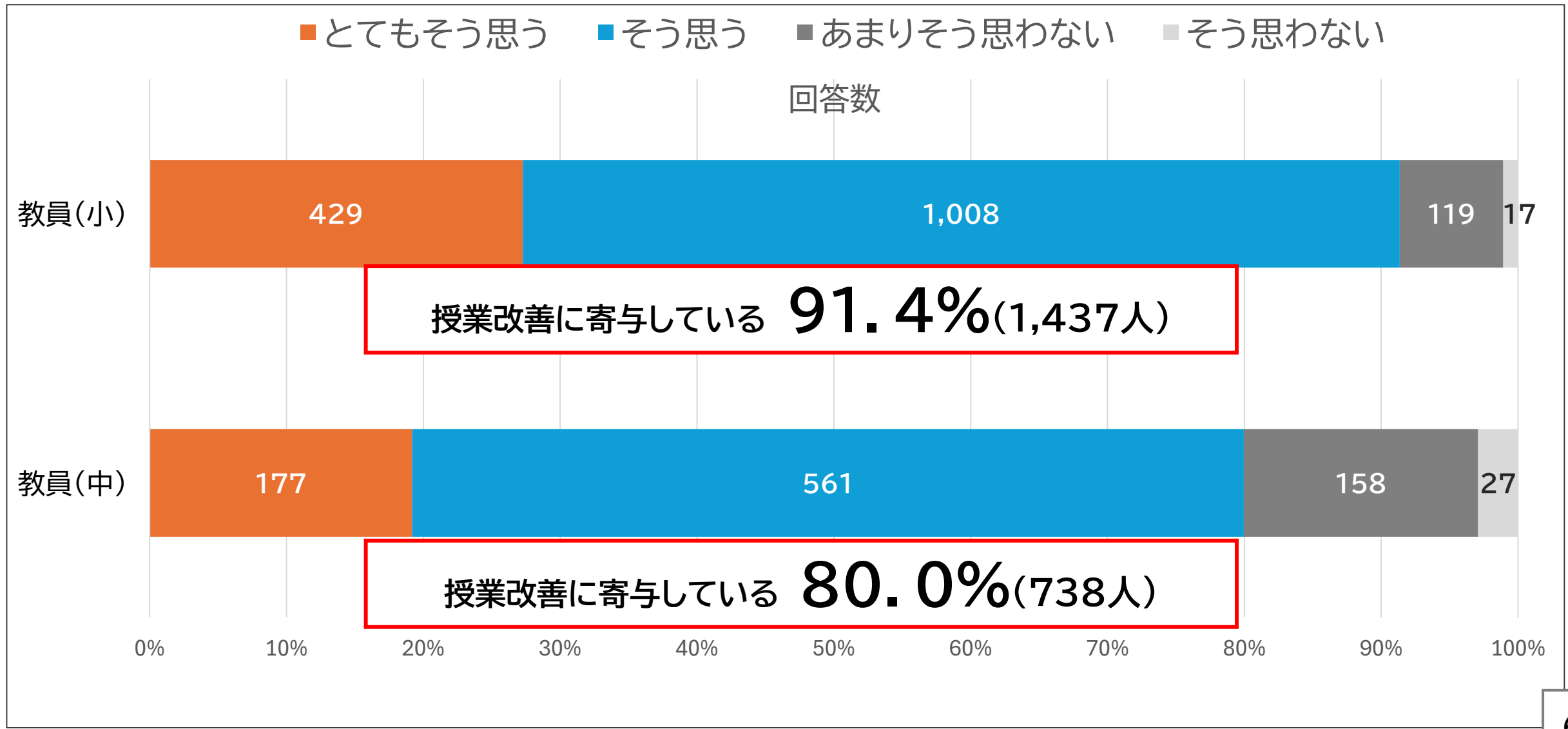
中学校教員 n=923



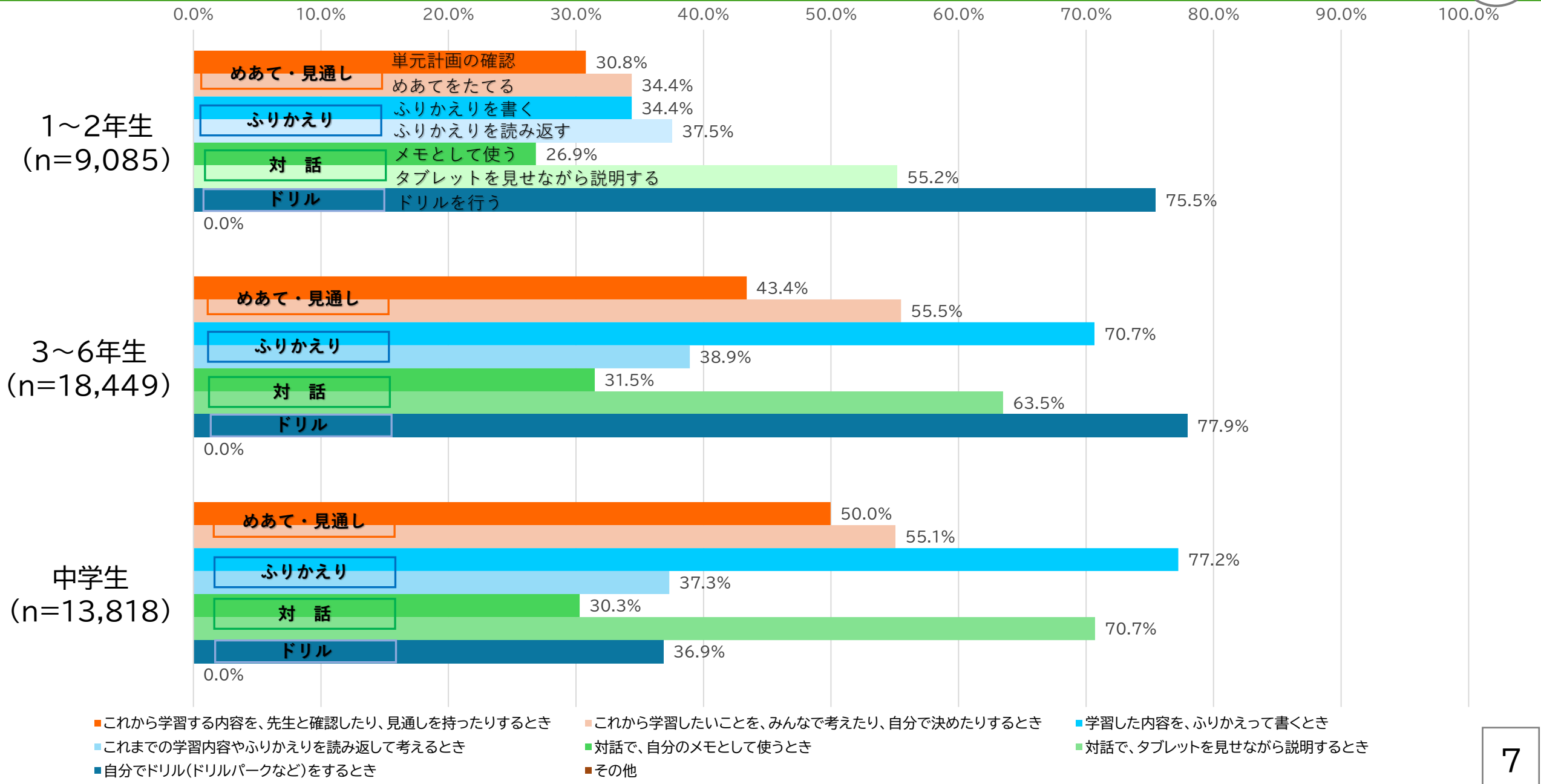
Q. タブレット端末は、授業改善に寄与していると思いますか

■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

回答数



授業での活用場面(学校での活用) ※複数回答可

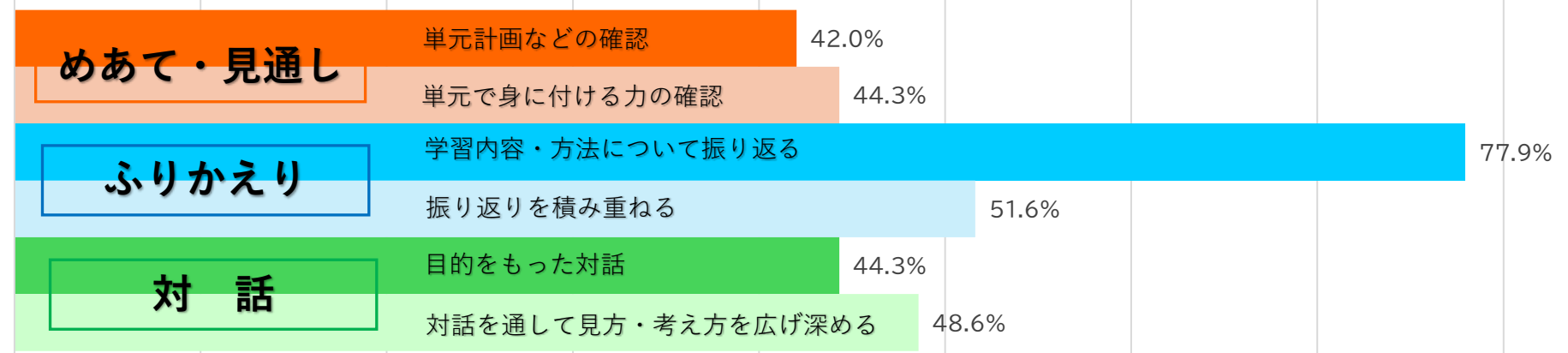


- これから学習する内容を、先生と確認したり、見通しを持ったりするとき
- これから学習したいことを、みんなで考えたり、自分で決めたりするとき
- 学習した内容を、ふりかえて書くとき
- これまでの学習内容やふりかえりを読み返して考えるとき
- 対話で、自分のメモとして使うとき
- 対話で、タブレットを見せながら説明するとき
- 自分でドリル(ドリルパークなど)をするとき
- その他

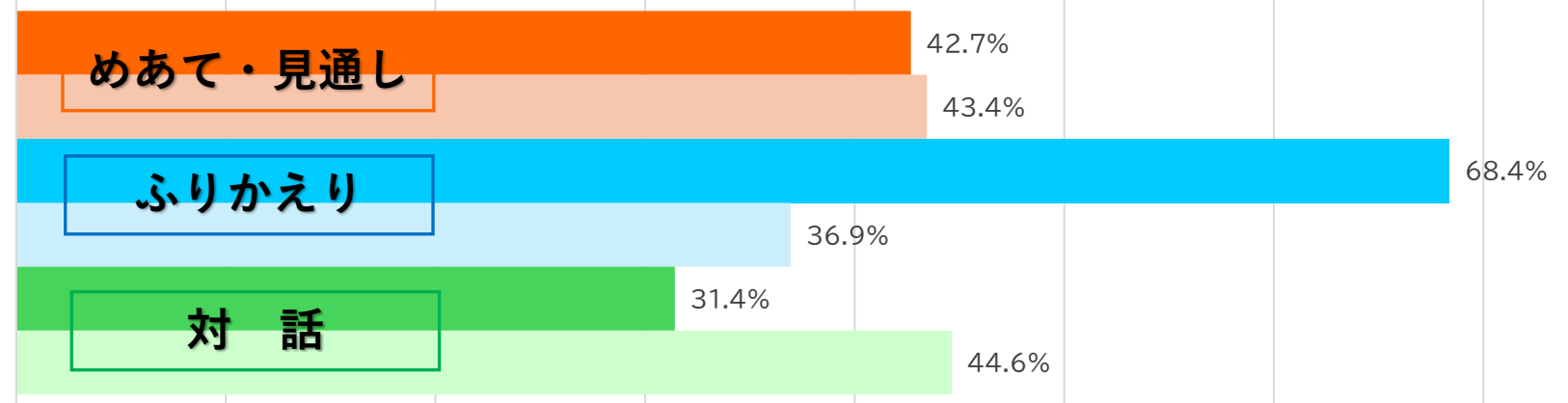
授業での活用場面(学校での活用) ※複数回答可

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

小学校教員
(n=1,573)



中学校教員
(n=923)

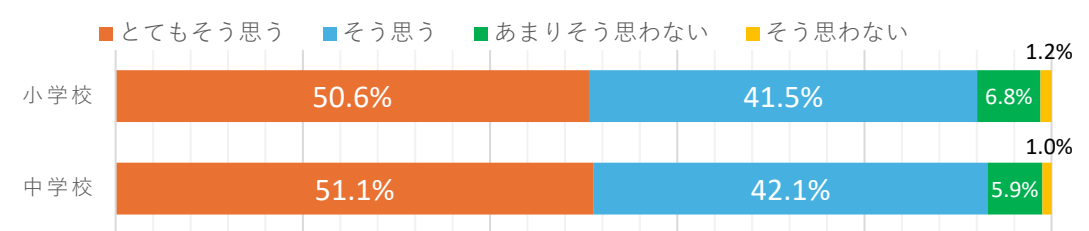


- 児童・生徒が、単元(題材)全体や本時の見通しをもって学べるように
- 児童・生徒が、単元(題材)や本時を通して身に付ける力が何かを理解できるように
- 児童・生徒が、学習内容・学習方法などについて、振り返ることができるように
- 児童・生徒が、単元(題材)を通して自分の成長や変化に気づくような振り返りを積み重ねられるように
- 児童・生徒が、目的をもって対話できるように
- 児童・生徒が、対話を通して、見方や考え方を広げたり深めたりできるように

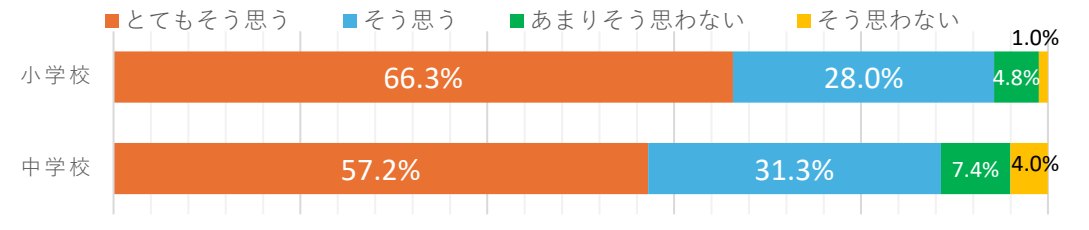
活用の効力感

Q. タブレット端末を活用することで、次のどのようながあてはまりますか

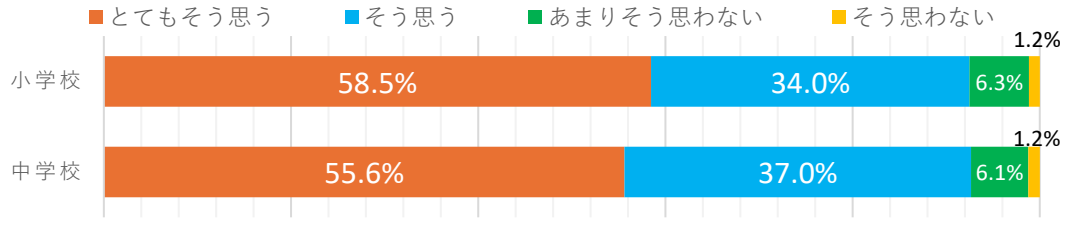
自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



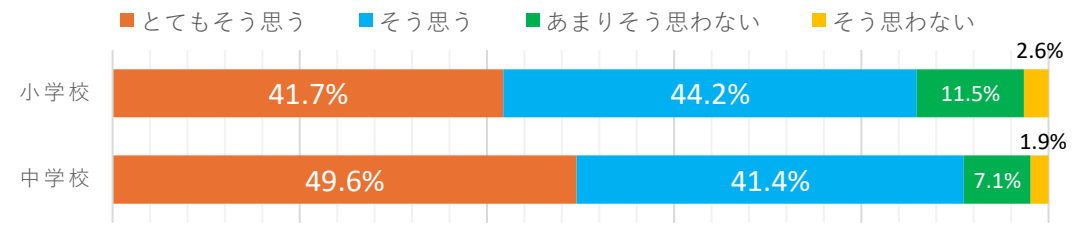
自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



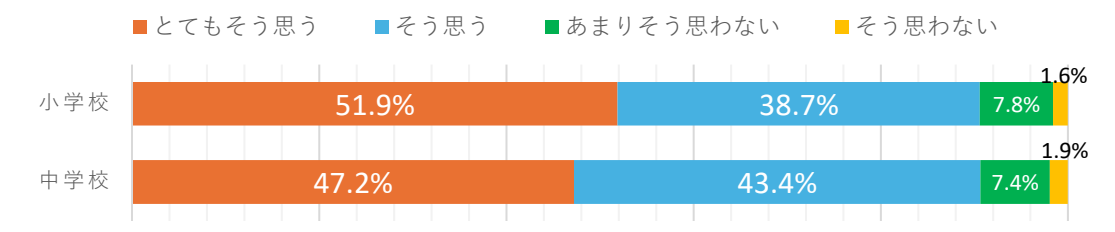
楽しみながら学習を進めることができる



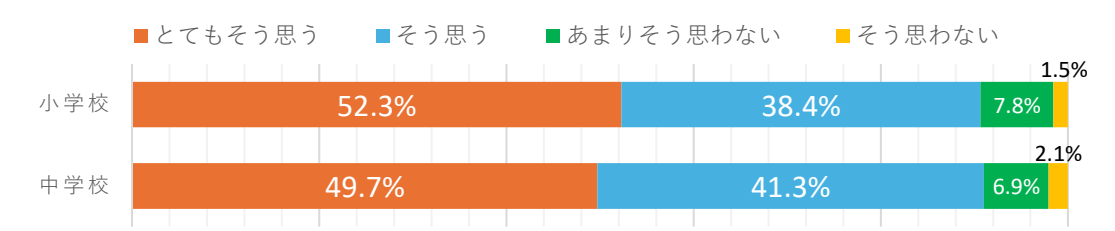
画像や動画、音声を活用することで、学習内容がよくわかる



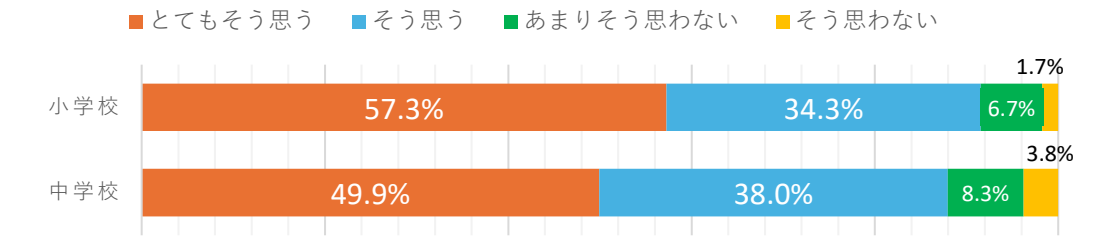
自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる



友達と協力しながら学習を進めることができる



友達と考えを共有したり、比べたりしやすくなる

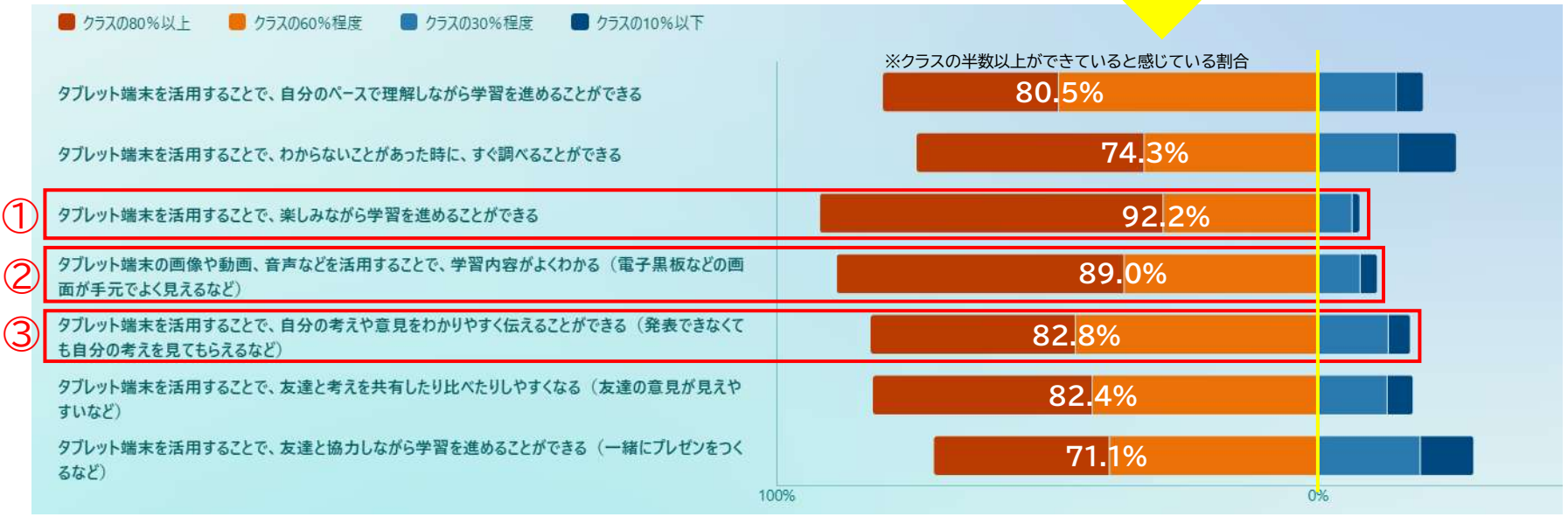


Q. タブレット端末があって良かったことを教えてください



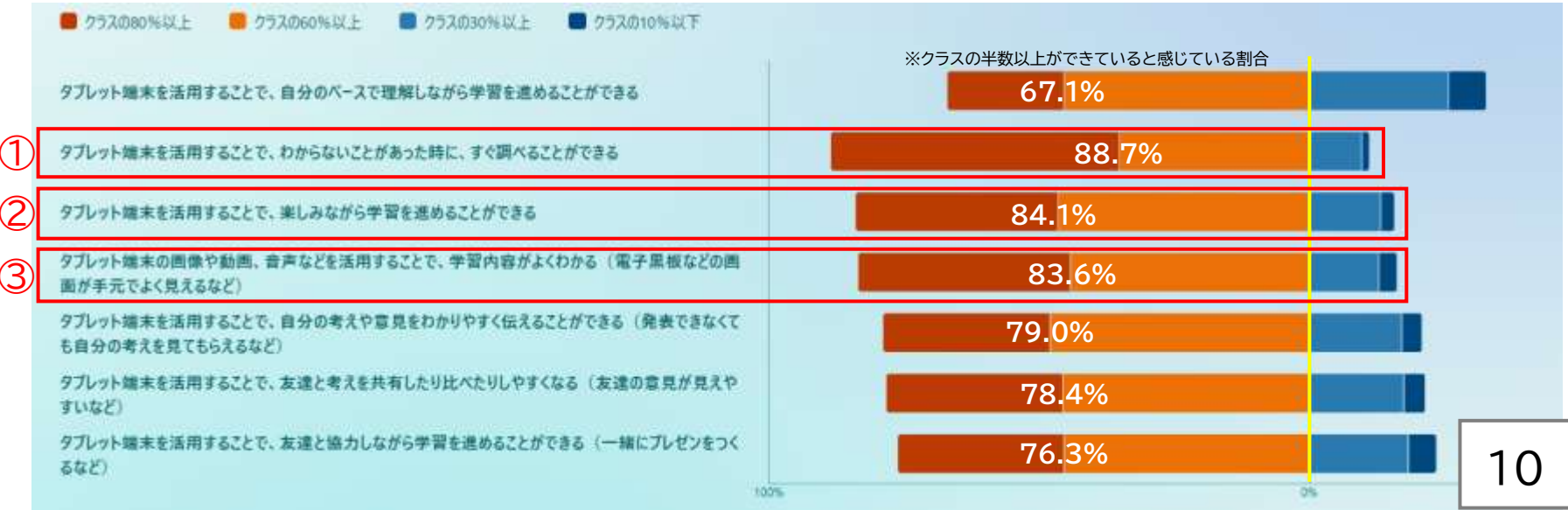
小学校教員 n=1,573

- ※クラスの半数以上ができていていると感じている割合
- 1位 **・楽しみながら学習を進める(92.2%)**
 - 2位 **・画像、動画、音声などを活用することで、学習内容がよくわかる(89.0%)**
 - 3位 **・考えや意見をわかりやすく伝えられる(82.8%)**



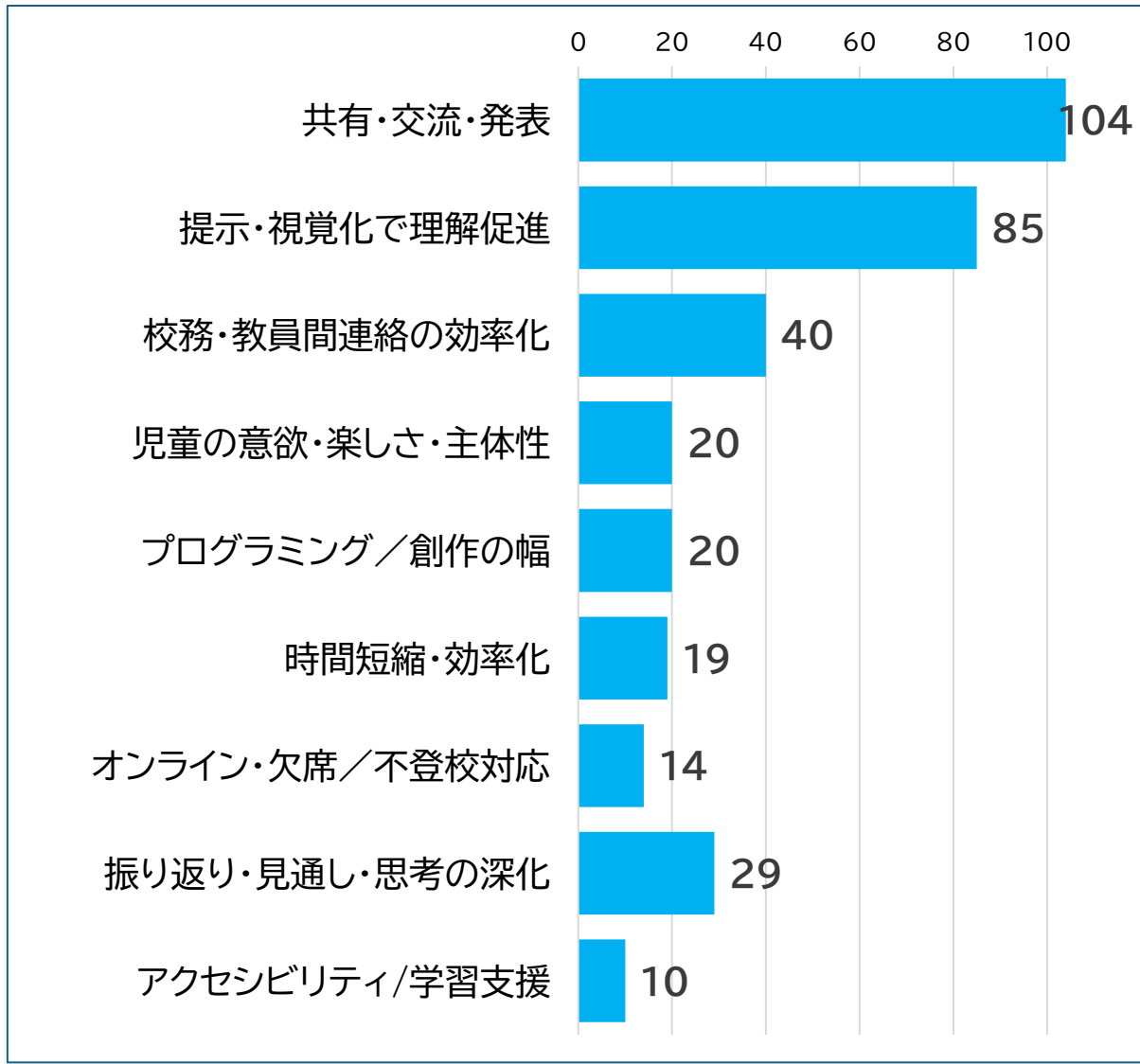
中学校教員 n=923

- ※クラスの半数以上ができていていると感じている割合
- 1位 **・すぐ調べることができる (88.7%)**
 - 2位 **・楽しみながら学習を進める(84.1%)**
 - 3位 **・画像、動画、音声などを活用することで、学習内容がよくわかる (83.6%)**

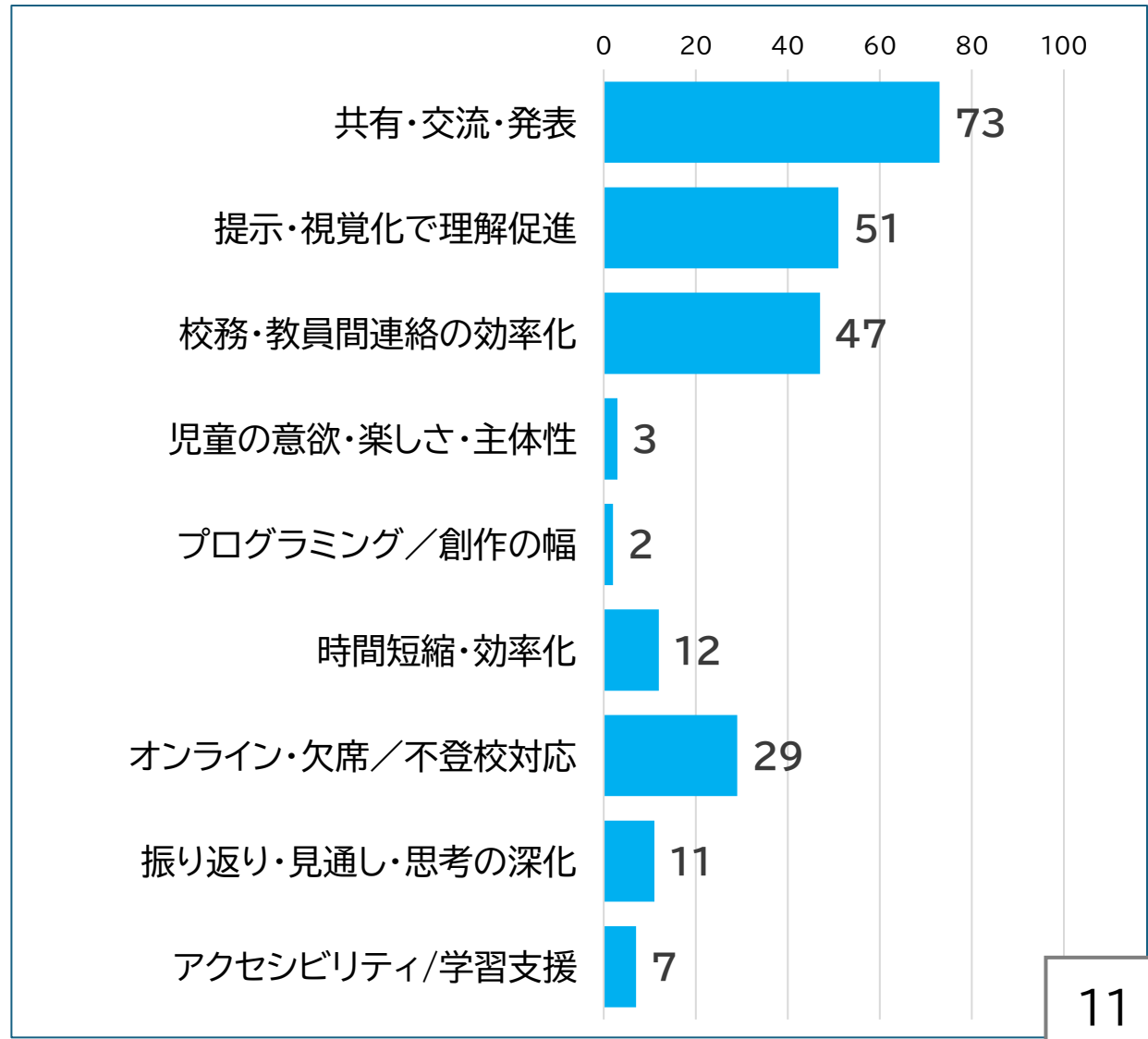


端末が導入されて感じる児童生徒の変化【自由記述～良かった点～】（端末への意識）

回答記述内容項目(小学校教員) n=341/1,573



回答記述内容項目(中学校教員) n=235/923

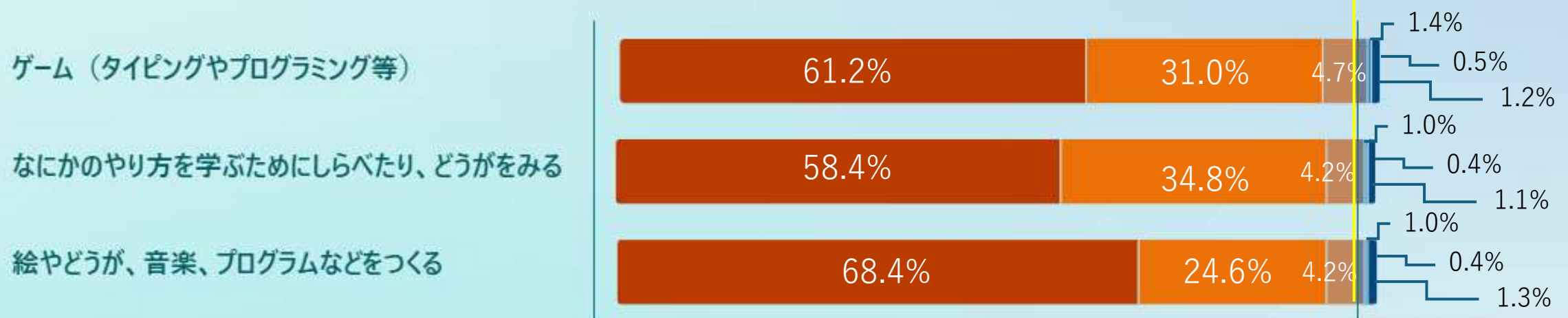


学校用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

小学1~2年生 n=9,085

学校のある日（平日）、学校のタブレットをどのくらい使っていますか

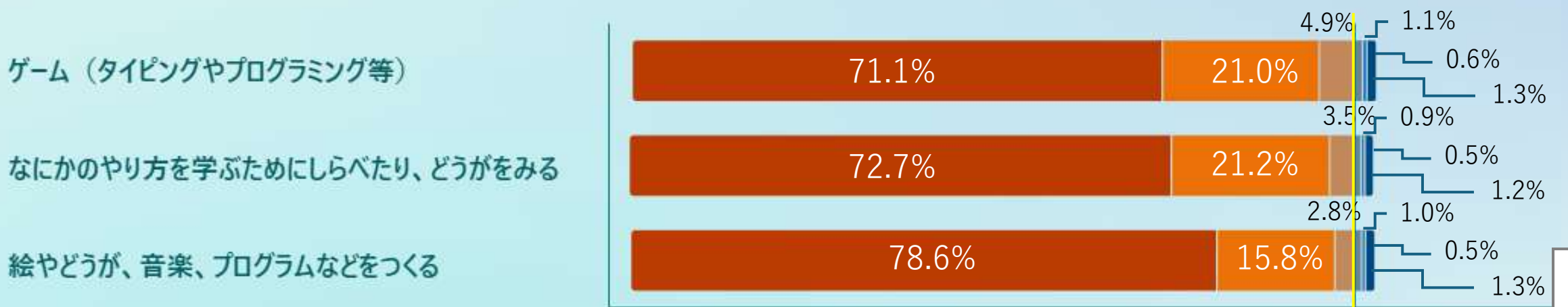
■ まったくつかっていない
 ■ 1時間みまん
 ■ 1~3時間ていど
 ■ 3~5時間ていど
 ■ 5~7時間ていど
 ■ 7時間いじょう



小学1~2年生 n=9,085

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどのくらい使っていますか

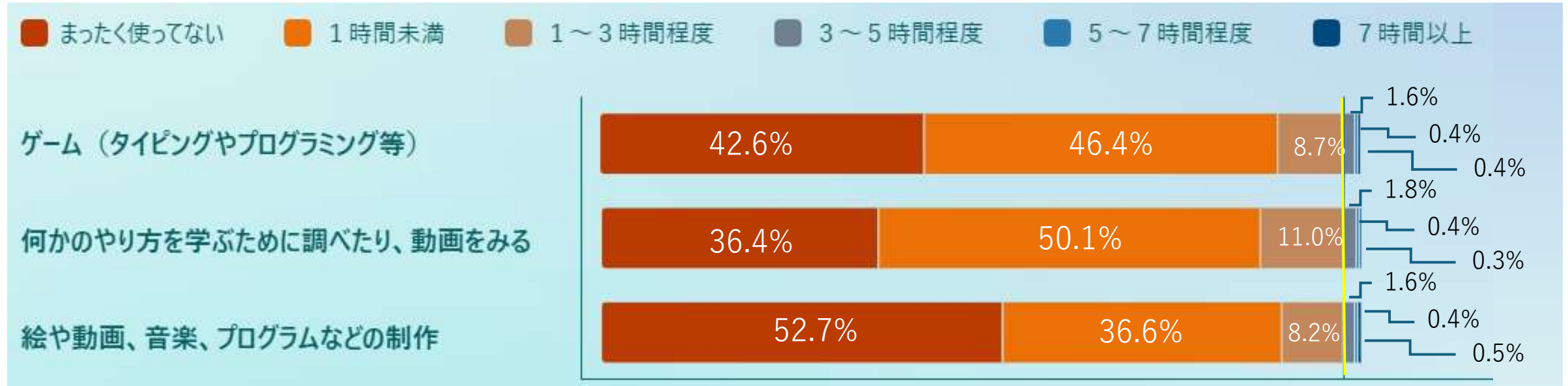
■ まったくつかっていない
 ■ 1時間みまん
 ■ 1~3時間ていど
 ■ 3~5時間ていど
 ■ 5~7時間ていど
 ■ 7時間いじょう



学校用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

小学3～6年生 n=18,449

学校のある日（平日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか



小学3～6年生 n=18,449

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか



学校用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

中学生n=13,128

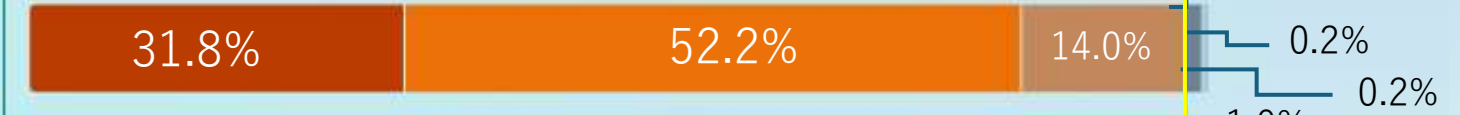
学校のある日（平日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか

■ まったく使ってない
 ■ 1時間未満
 ■ 1～3時間程度
 ■ 3～5時間程度
 ■ 5～7時間程度
 ■ 7時間以上

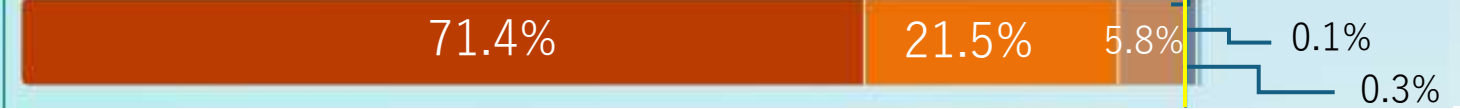
ゲーム（タイピングやプログラミング等）



何かのやり方を学ぶために調べたり、動画を見る



絵や動画、音楽、プログラムなどの制作



中学生n=13,128

学校のない日（休日）、学校のタブレットをどの程度使っていますか

■ まったく使ってない
 ■ 1時間未満
 ■ 1～3時間程度
 ■ 3～5時間程度
 ■ 5～7時間程度
 ■ 7時間以上

ゲーム（タイピングやプログラミング等）



何かのやり方を学ぶために調べたり、動画を見る



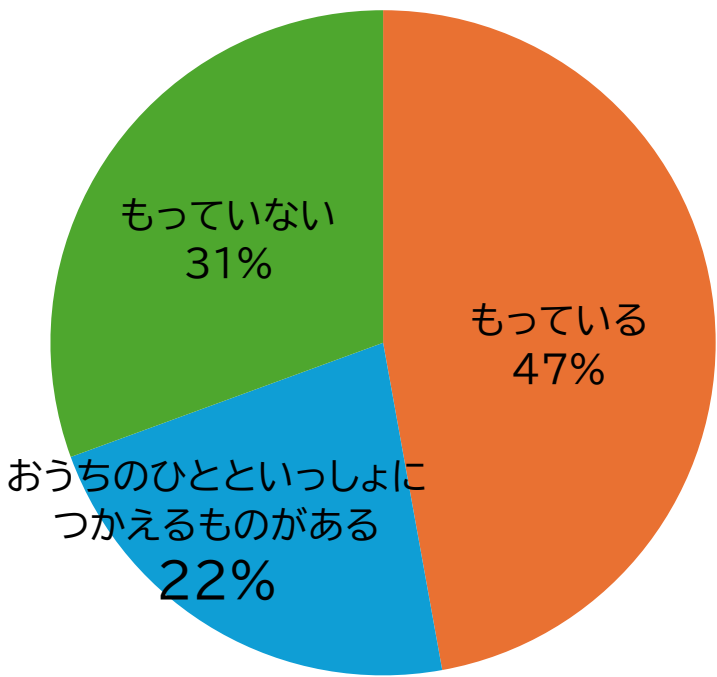
絵や動画、音楽、プログラムなどの制作



家庭用端末の所持率（端末の取扱い）

Q. 学校のタブレット以外に、自分が使えるスマホやタブレットやパソコンなどを持っていますか

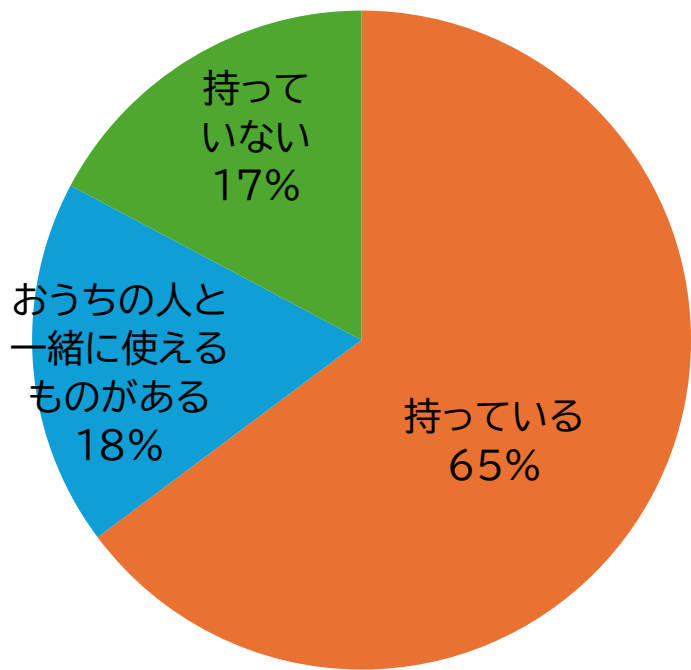
小学1~2年生 n=9,085



自分で使える端末がある

69%

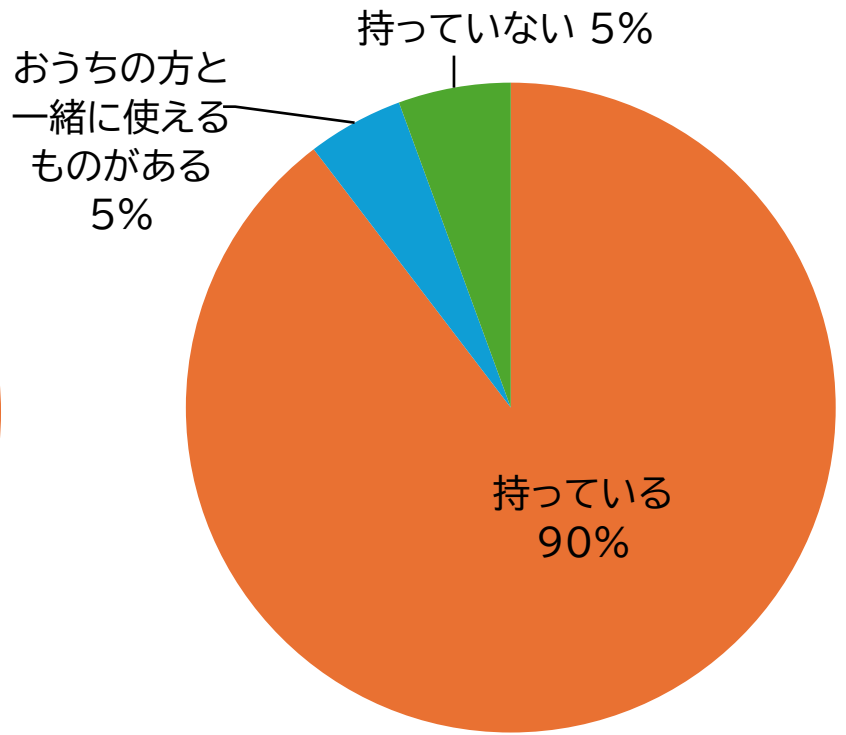
小学3~6年生 n=18,449



自分で使える端末がある

83%

中学生 n=13,818

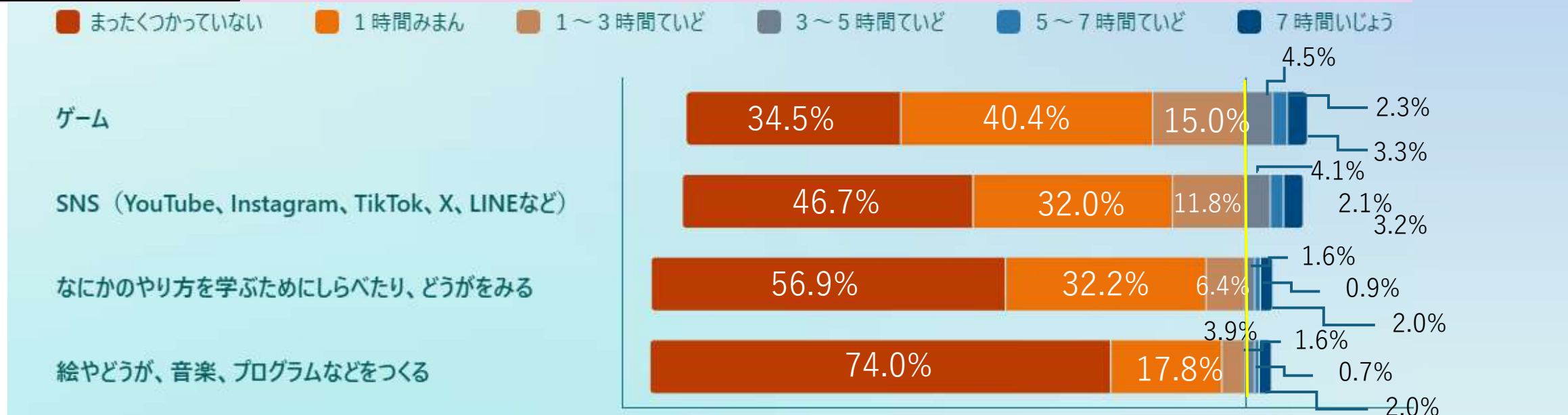


自分で使える端末がある

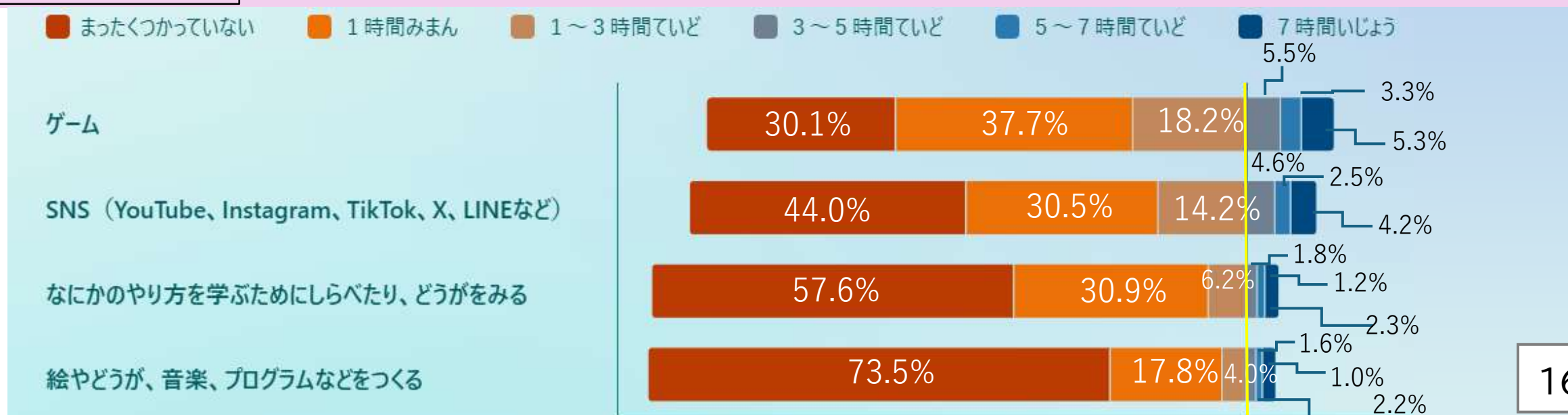
95%

家庭用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

小学1~2年生 n=9,085 学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどのくらい使っていますか

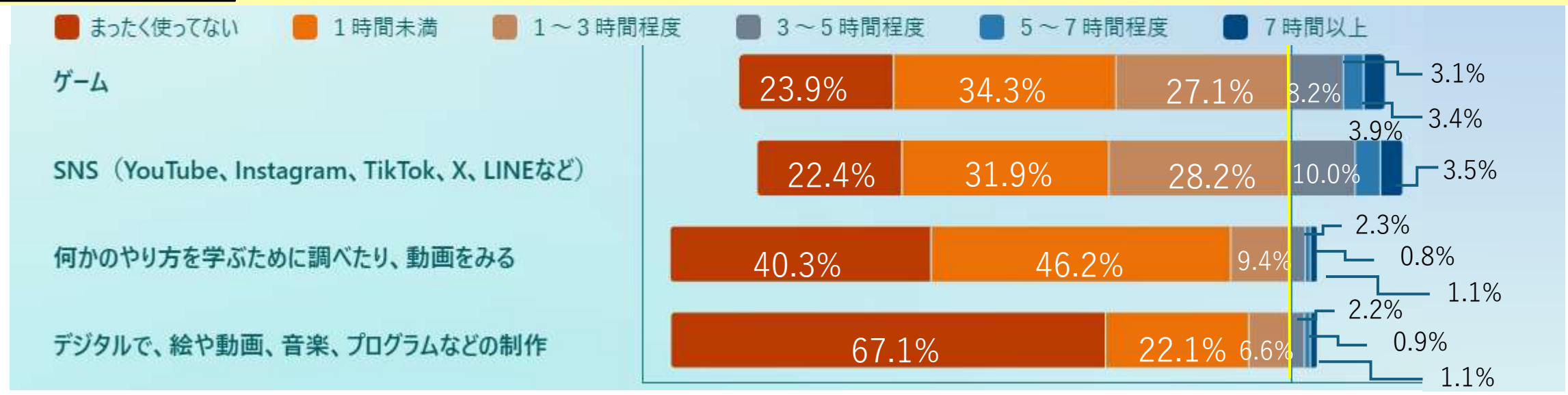


小学1~2年生 n=9,085 学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどのくらい使っていますか

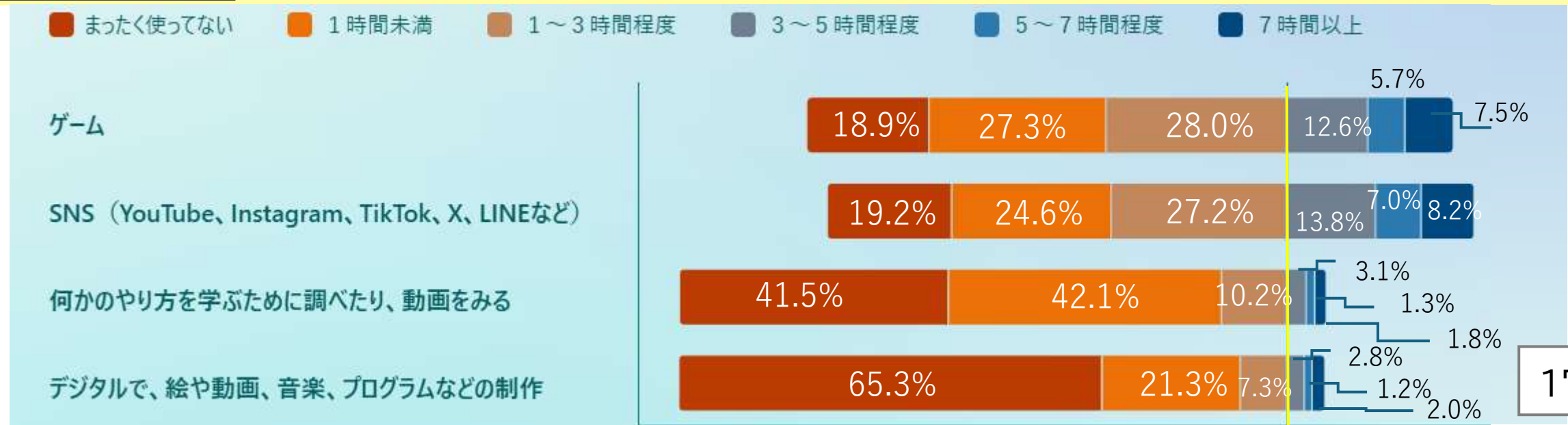


家庭用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

小学3～6年生 n=18,449 学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



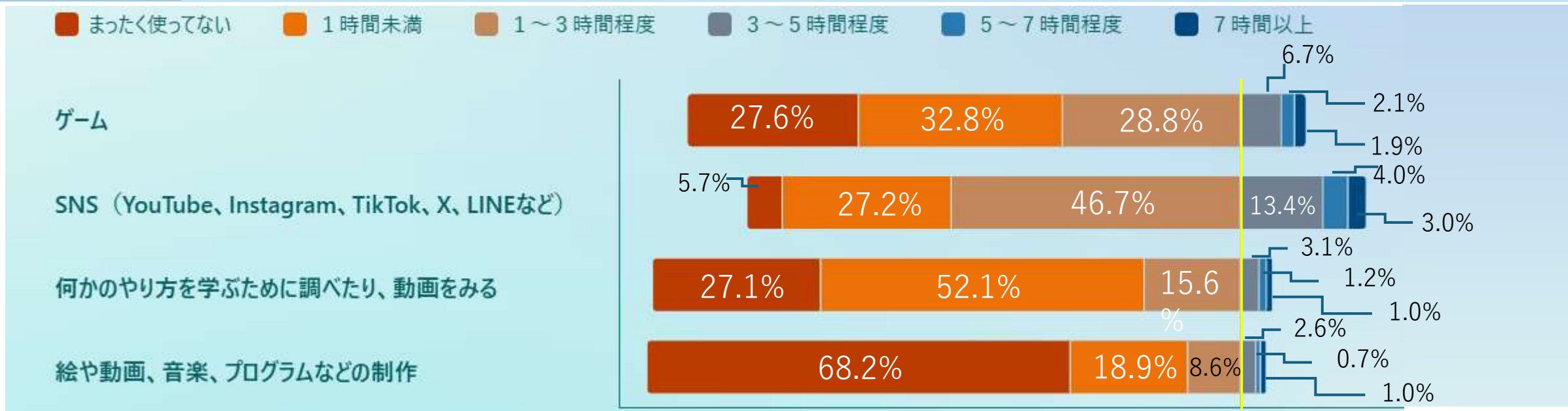
小学3～6年生 n=18,449 学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



家庭用端末の使用内容と使用時間（端末の取扱い）

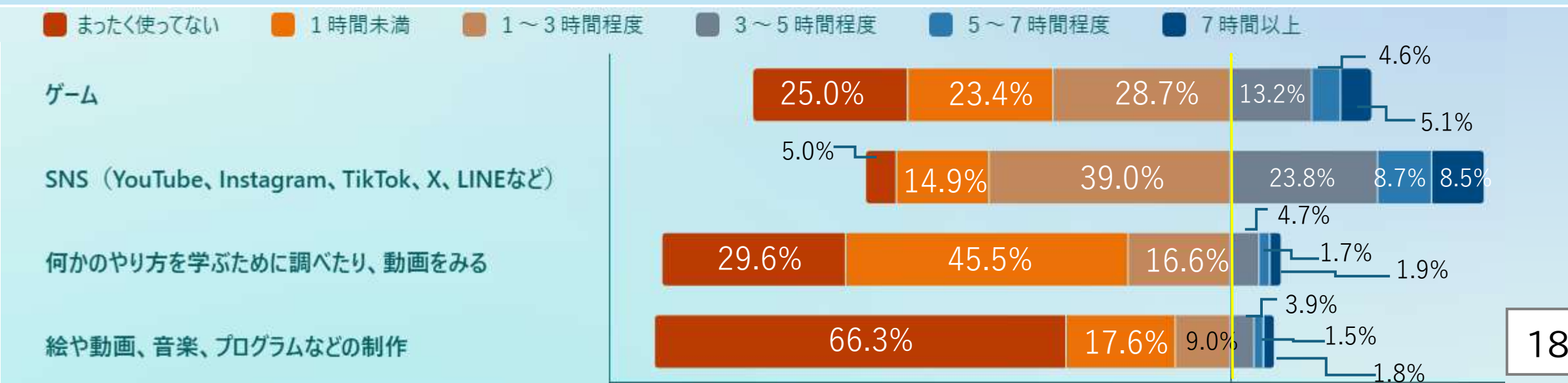
中学生n=13,128

学校のある日（平日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



中学生n=13,128

学校のない日（休日）、家のスマホやタブレット、パソコンどの程度使っていますか



■ とてもそう思う
 ■ そう思う
 ■ あまりそう思わない
 ■ そう思わない

【学習面】

1. 操作が難しくて学習が進まない
2. タブレットがあると集中できない

【生活・健康面】

3. 目や姿勢への負担を感じる
4. タブレットををついつい長時間使ってしまう

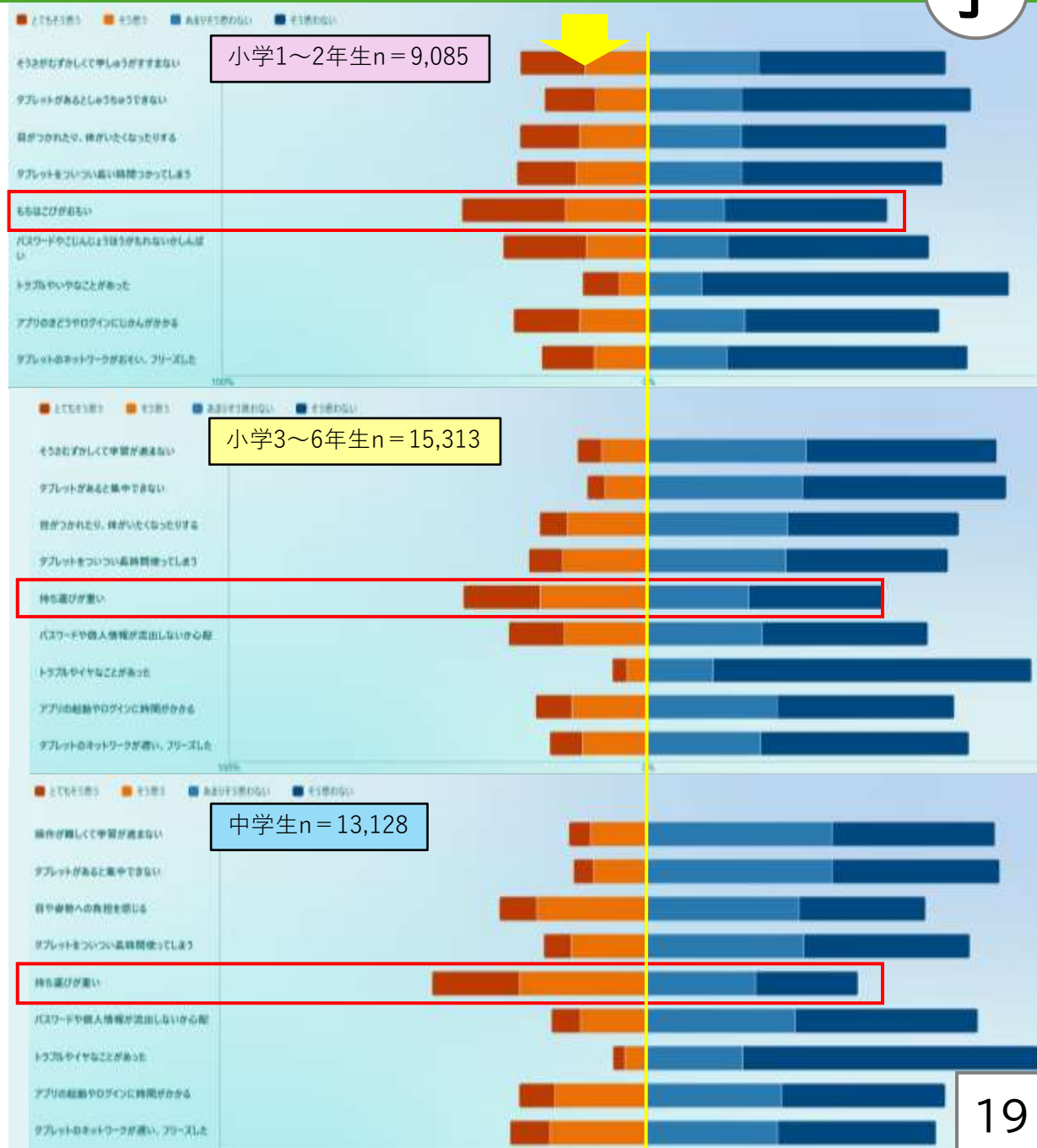
5. 持ち運びが重い

【安全面】

6. パスワードや個人情報が出しにくい心配
7. トラブルやイヤなことがあった

【環境面】

8. アプリの起動やログインに時間がかかる
9. タブレットのネットワークが遅い、フリーズした

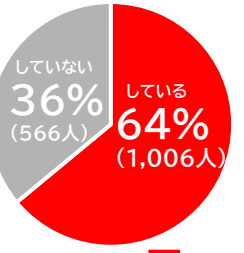


端末が導入されて感じる児童生徒の変化（端末への意識）



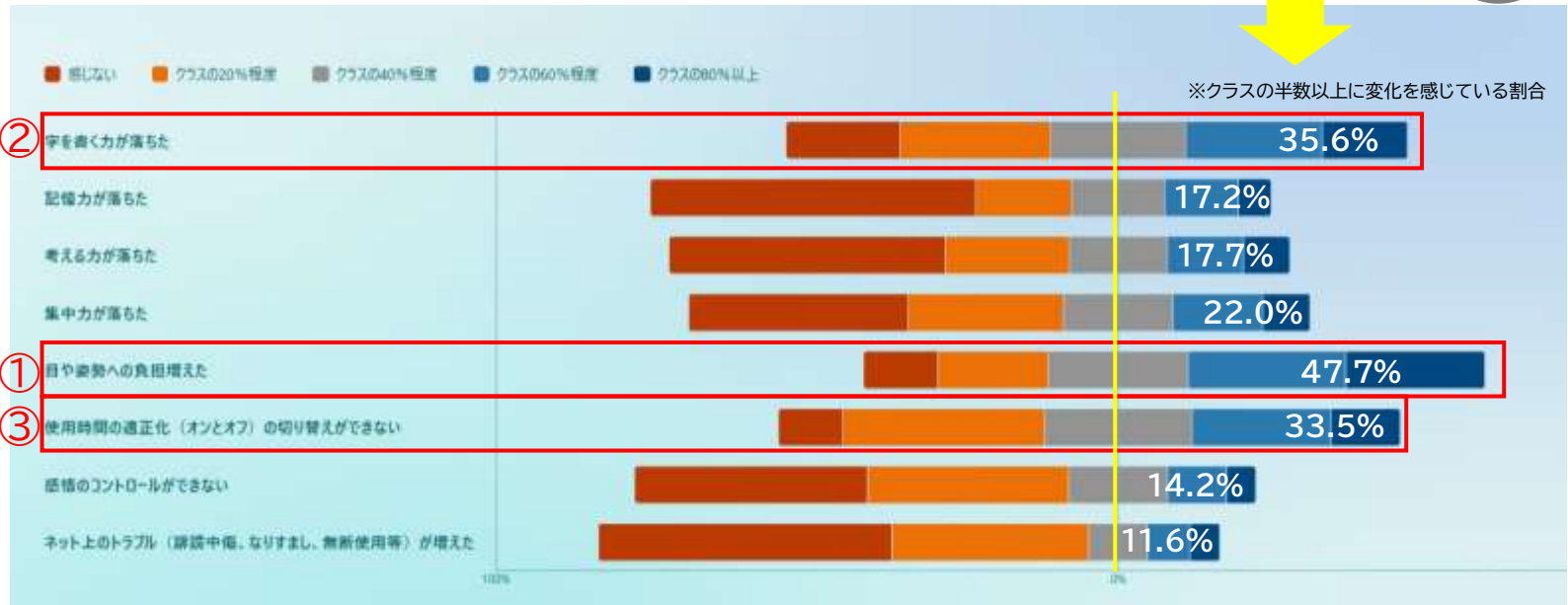
小学校教員 n=1,573

タブレット導入前から授業をしていたか



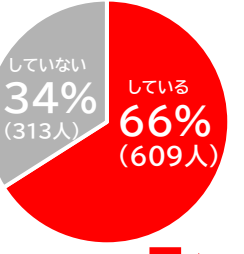
タブレットが導入されて感じる児童の変化

- ※クラスの半数以上に変化を感じている割合
- 1位 **目や姿勢への負担(47.7%)** 750人
 - 2位 **字を書く力(35.6%)** 559人
 - 3位 **オンオフの切り替え(33.5%)** 526人



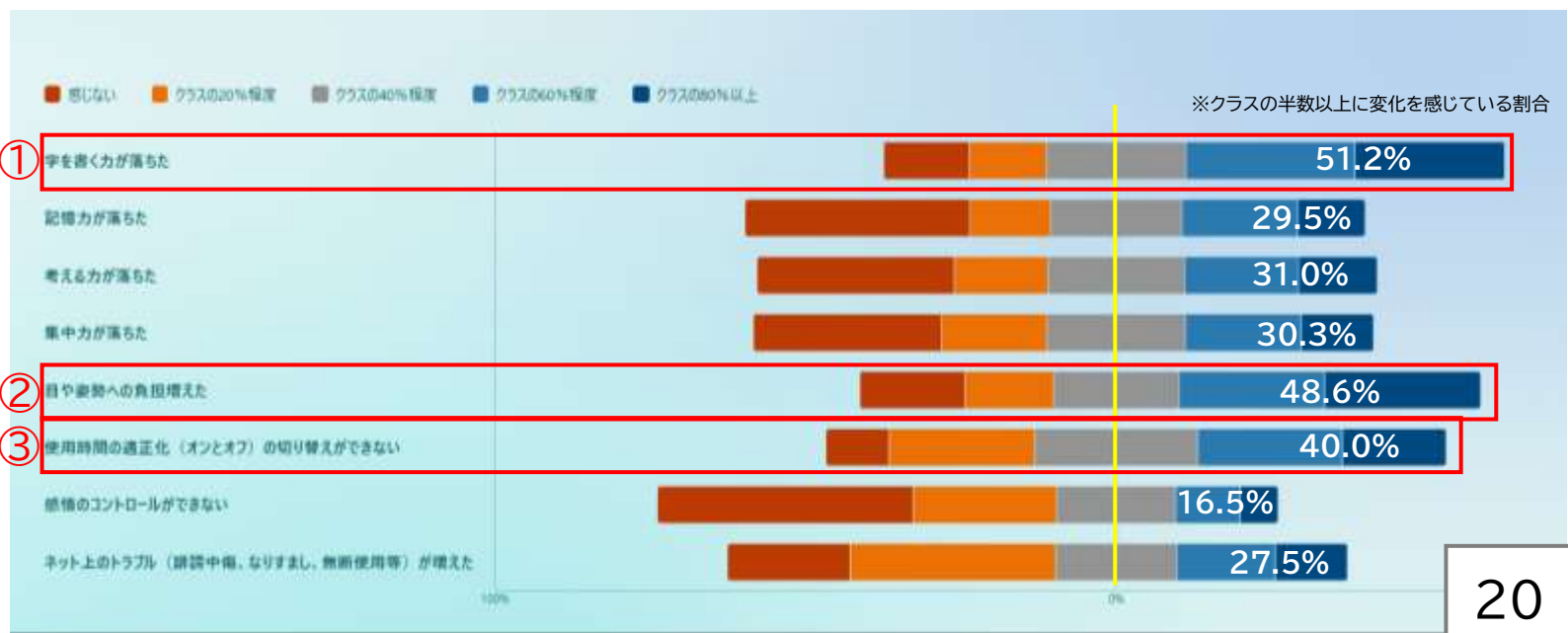
中学校教員 n=923

タブレット導入前から授業をしていたか



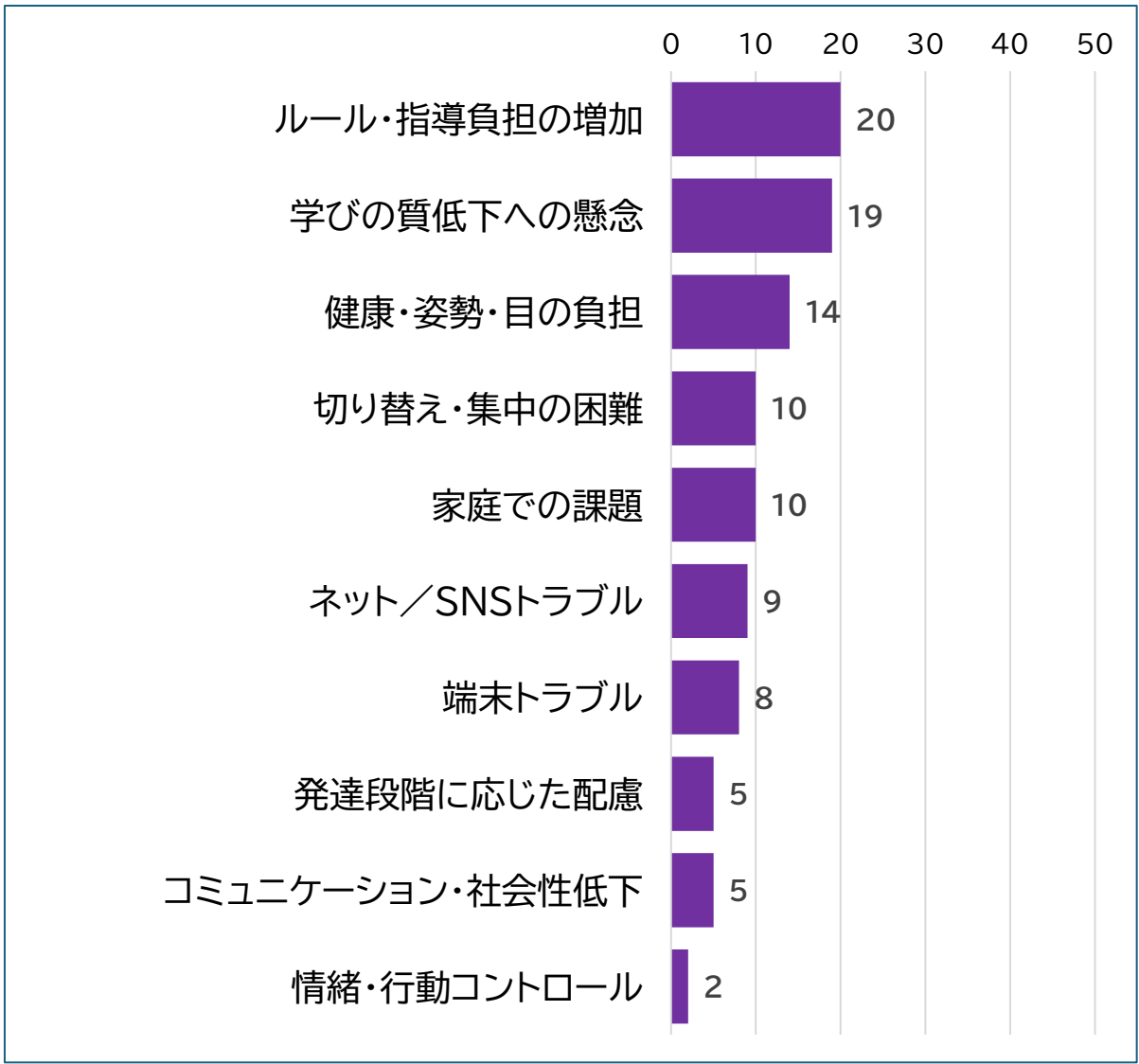
タブレットが導入されて感じる生徒の変化

- ※クラスの半数以上に変化を感じている割合
- 1位 **字を書く力(51.2%)** 472人
 - 2位 **目や姿勢への負担(48.6%)** 448人
 - 3位 **オンオフの切り替え(40.0%)** 369人

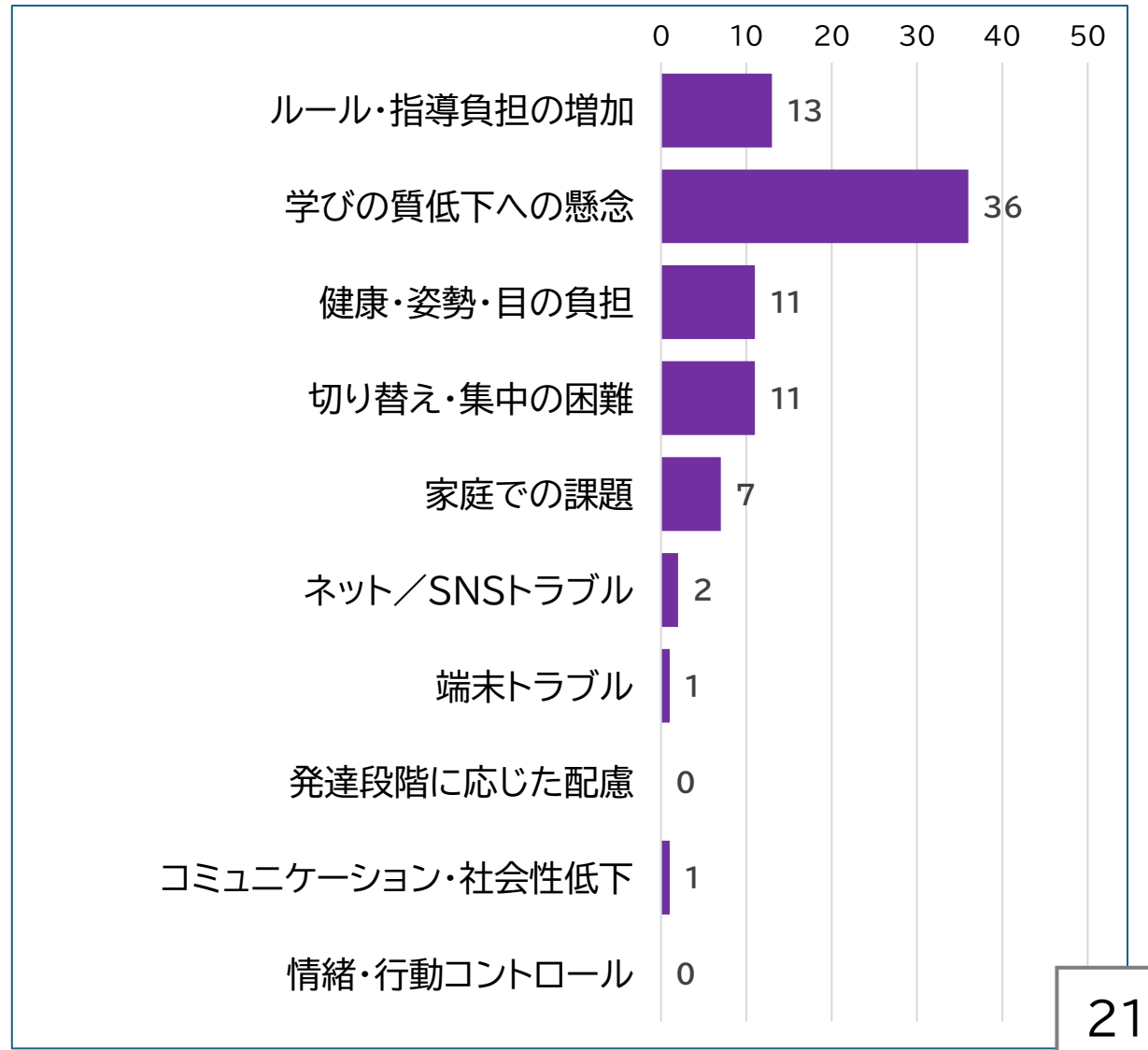


端末が導入されて感じる児童生徒の変化【自由記述～困った点～】（端末への意識）

回答記述内容項目(小学校教員) n=102 /1,573



回答記述内容項目(中学校教員) n=82/923



【児童生徒】

- 「楽しみながら学習できる」や「理解がしやすくなる」などの、タブレットを使うことで生まれる効力感や有用性を感じている児童生徒は、7つの設問のいずれにおいても**9割前後**だった(資料9)
- 家庭用端末での使用時間は、小学校中学年から**「3時間以上」**の利用が増える傾向にあった。(資料16~18)
- タブレットを使っているときの困りごととして、最も多かったのは、小中学校ともに**「持ち運びが重い」**だった(資料19)

【教員】

- タブレットが「授業改善に寄与している」と感じている教員は小中学校ともに**8割を超えた**(資料6)
- タブレットを活用することで、子どもたちが「楽しみながら学習できる」「理解がしやすくなる」と感じている教員は、小中学校ともに**8割を超えた**(資料10)
- 児童生徒の「書く力の低下」や「目や姿勢への負担が増加」との回答が**3~5割程度**あった。(資料20)